

独立行政法人 長崎医療センター
国立病院機構

腫瘍集計報告

2023

NATIONAL
NAGASAKI
MEDICAL CENTER

2023年1月～2023年12月



巻頭言

2023年の長崎医療センターの腫瘍集計報告書が出来ました。

長崎県全体のがん登録は、1984年に地域がん登録として「長崎県がん登録・評価事業」が始まりました。当センターとしては、2004年から独自に院内がん登録を開始しており、情報の蓄積を行っています。2016年に「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、都道府県がん登録にも協力しています。診断時の状況やその後の治療含めた状況も登録されることから、患者数、罹患率、治療効果、生存率などの把握に繋がり、国や都道府県のがん対策の基礎となっています。

2023年の登録者は1,596件で、コロナ禍前の2019年と変わらない件数となっています。傾向として、女性の30-44歳での肺・大腸・肝臓のがんが登録されており、今後、この階層での増加がみられるのかなど、推移を注意深く見ていく必要があります。また、最近の15年間の推移から胃がん・大腸がん・肺がんの初回治療としての外科的治療の多くが鏡視下治療に移行していました。

がん登録を分析することにより、未来のがんの状況を予測し、がん対策を検討する上で重要な資料となります。引き続き、関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

2024年12月

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
院長 高山 隼人

目 次

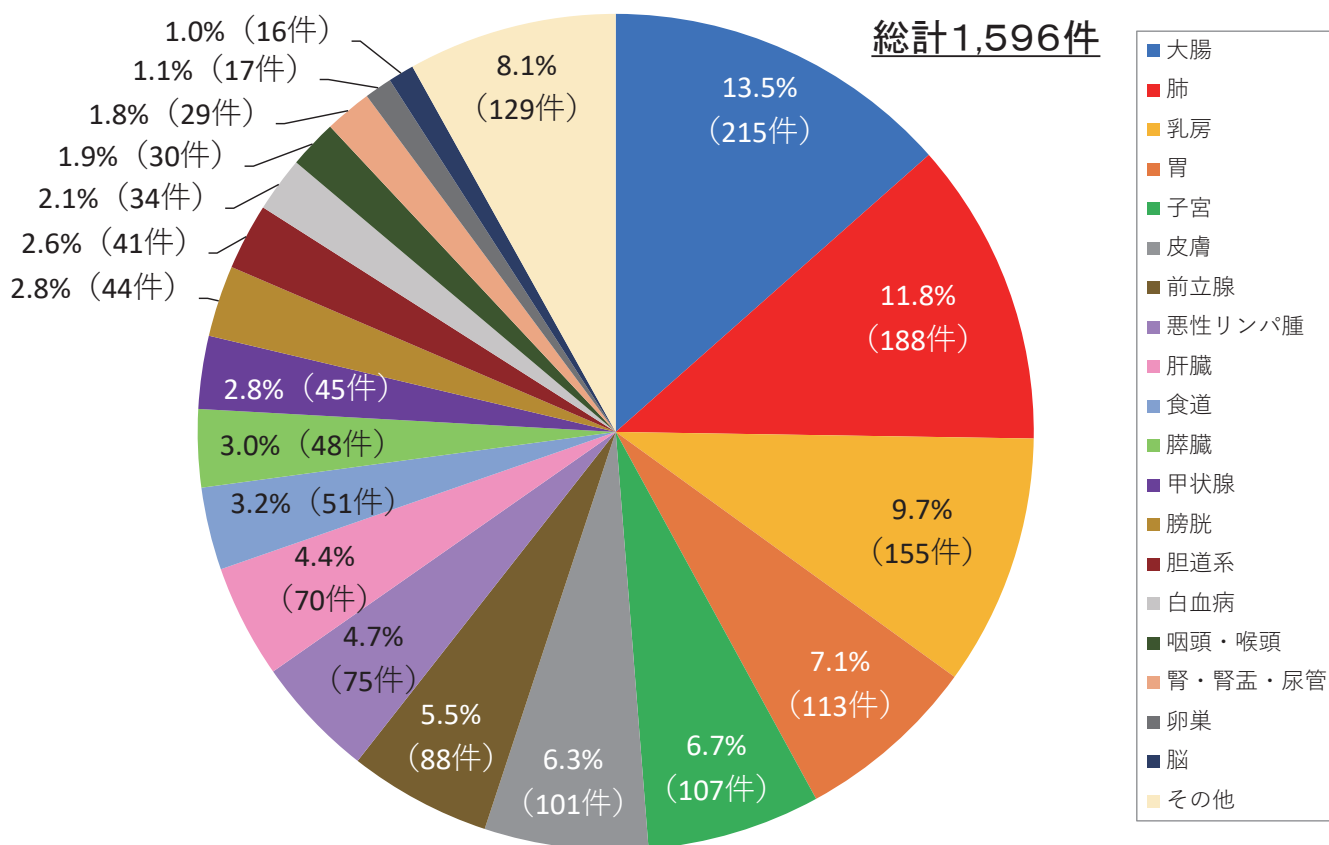
<腫瘍集計報告 2023>

全がん 部位別登録件数	1
全がん 部位別登録件数〔男性〕	1
全がん 部位別登録件数〔女性〕	2
全がん 年齢別登録件数	2
年齢別登録件数〔男性〕	3
年齢別登録件数〔女性〕	3
地域別登録件数〔全臓器〕	4
地域別登録件数〔胃〕	4
地域別登録件数〔大腸〕	5
地域別登録件数〔肝臓〕	5
地域別登録件数〔肺〕	6
地域別登録件数〔乳房〕	6
来院経路（地域別）	7
発見経緯（5大がん）	7
初回治療方法	8
胃がん 初回治療内容	8
大腸がん 初回治療内容	9
肝がん 初回治療内容	9
肺がん 初回治療内容	10
乳がん 初回治療内容	10

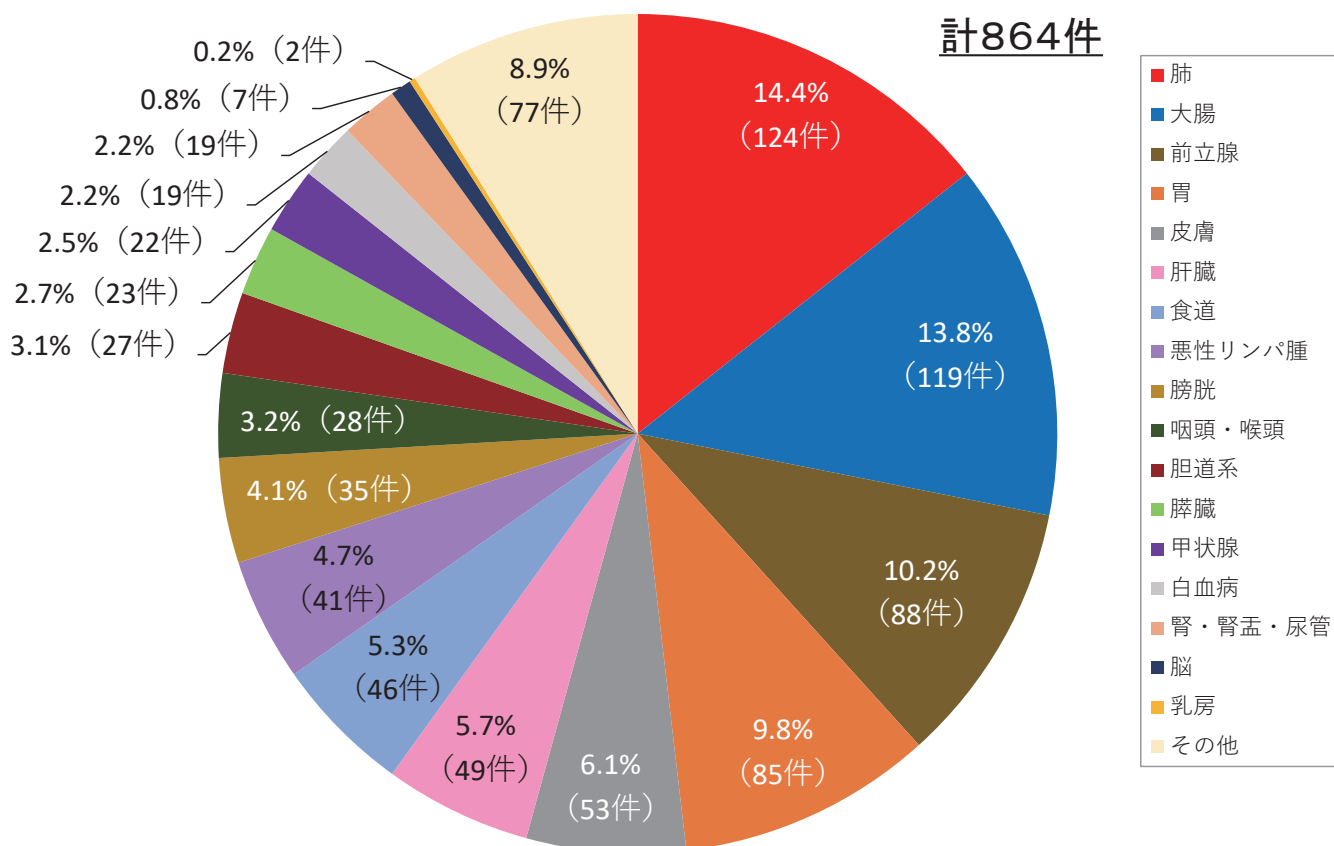
<2019～2023 年次推移>

登録件数（5大がん）の推移	11
初回治療方法（胃）の推移	11
初回治療方法（大腸）の推移	12
初回治療方法（肝臓）の推移	12
初回治療方法（肺）の推移	13
初回治療方法（乳房）の推移	13
来院経路の推移	14
発見経緯の推移	14
編集後記	15

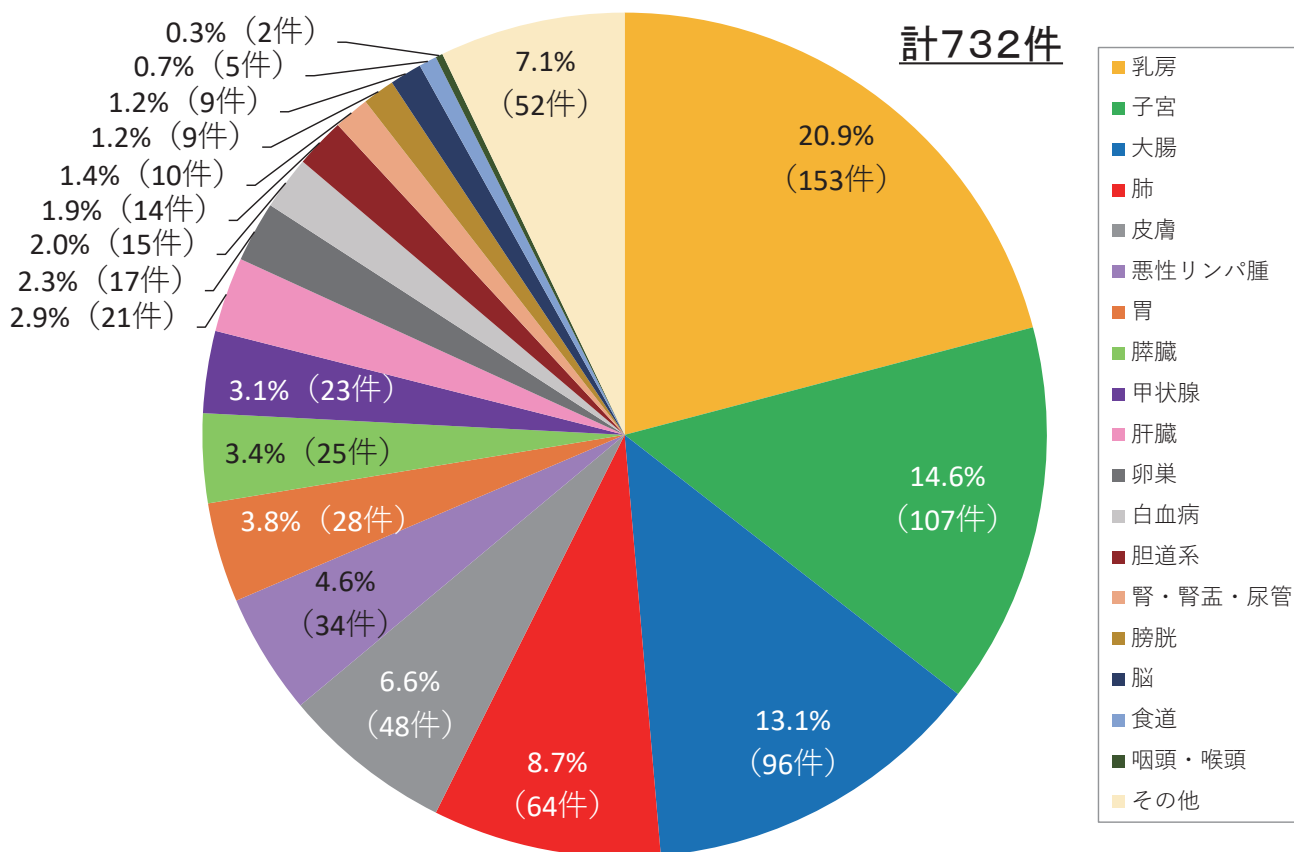
全がん 部位別登録件数



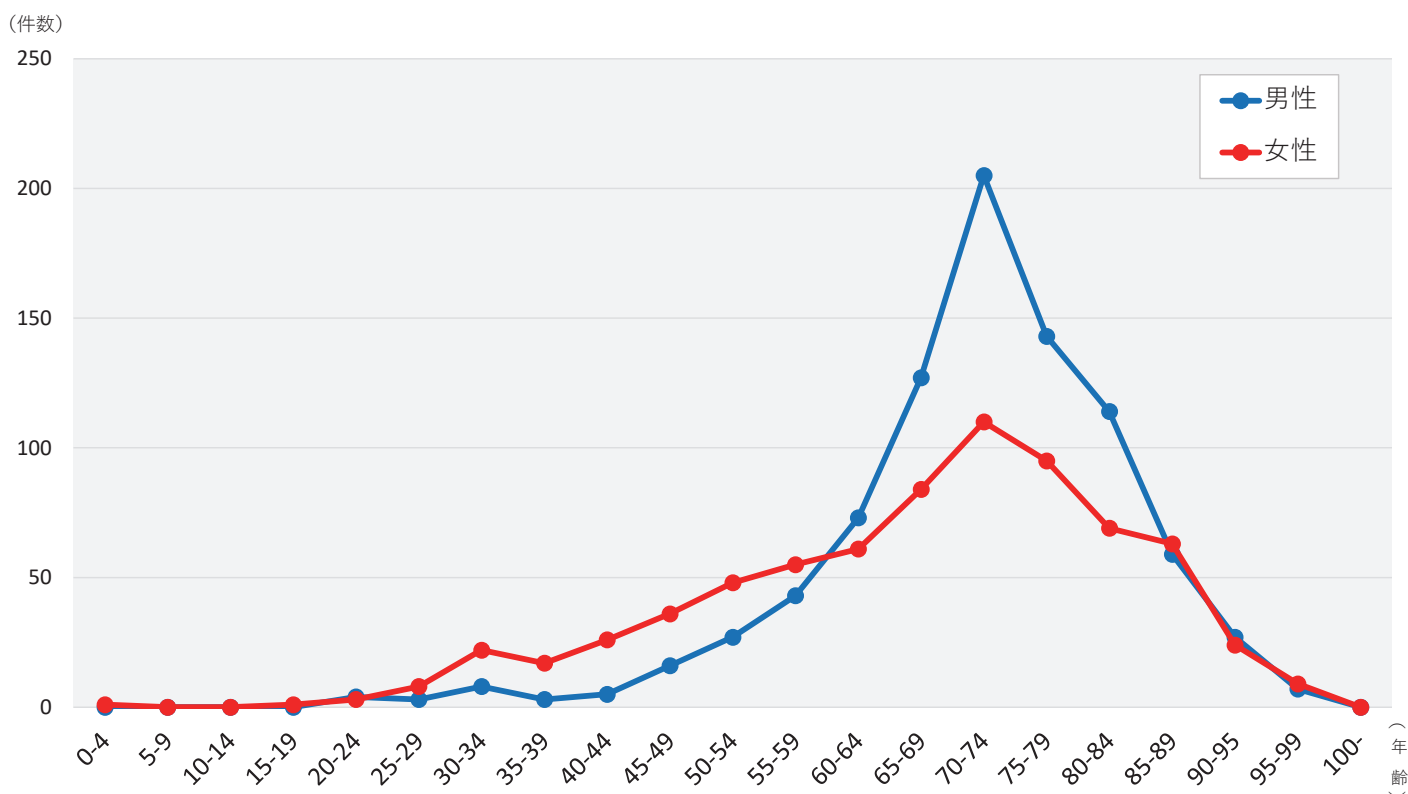
全がん 部位別登録件数〔男性〕



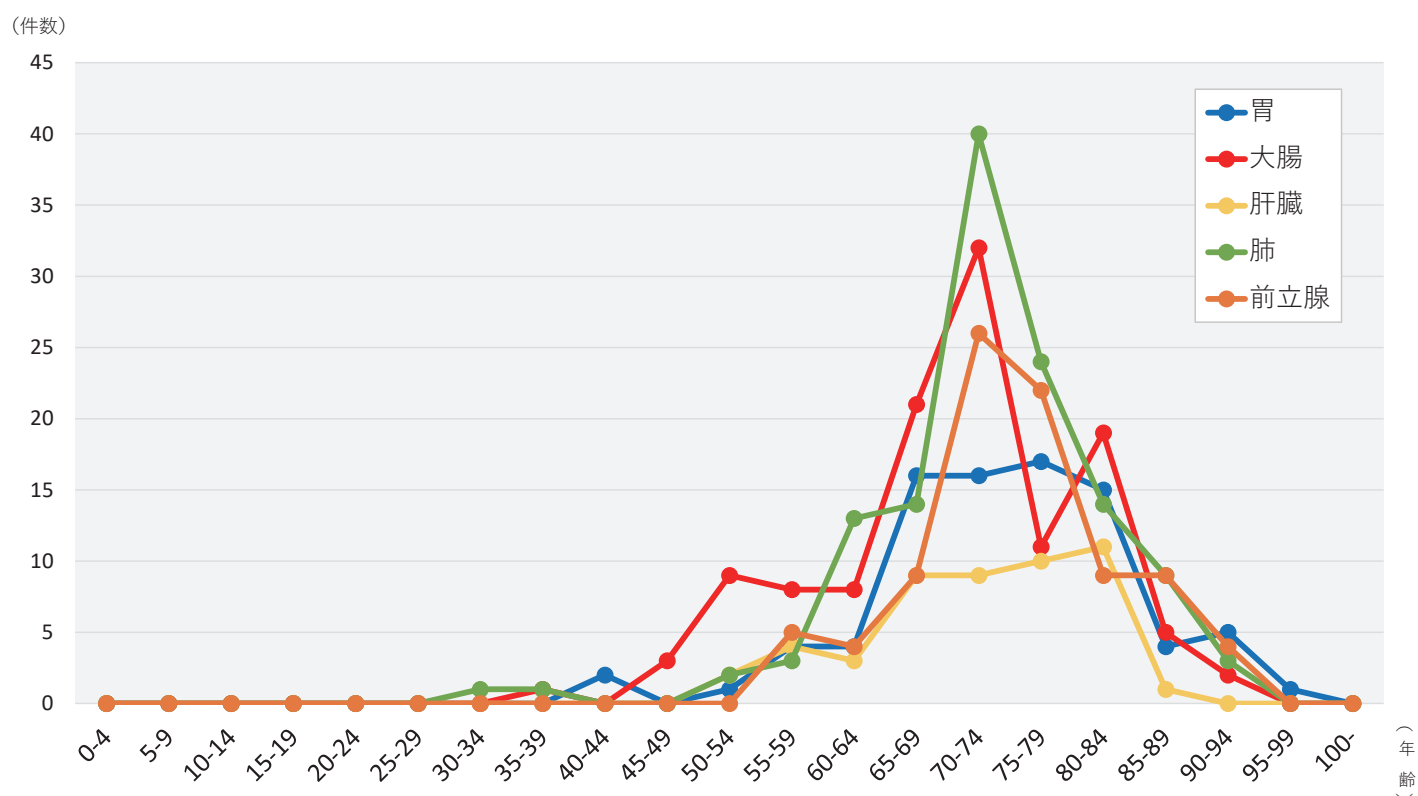
全がん 部位別登録件数〔女性〕



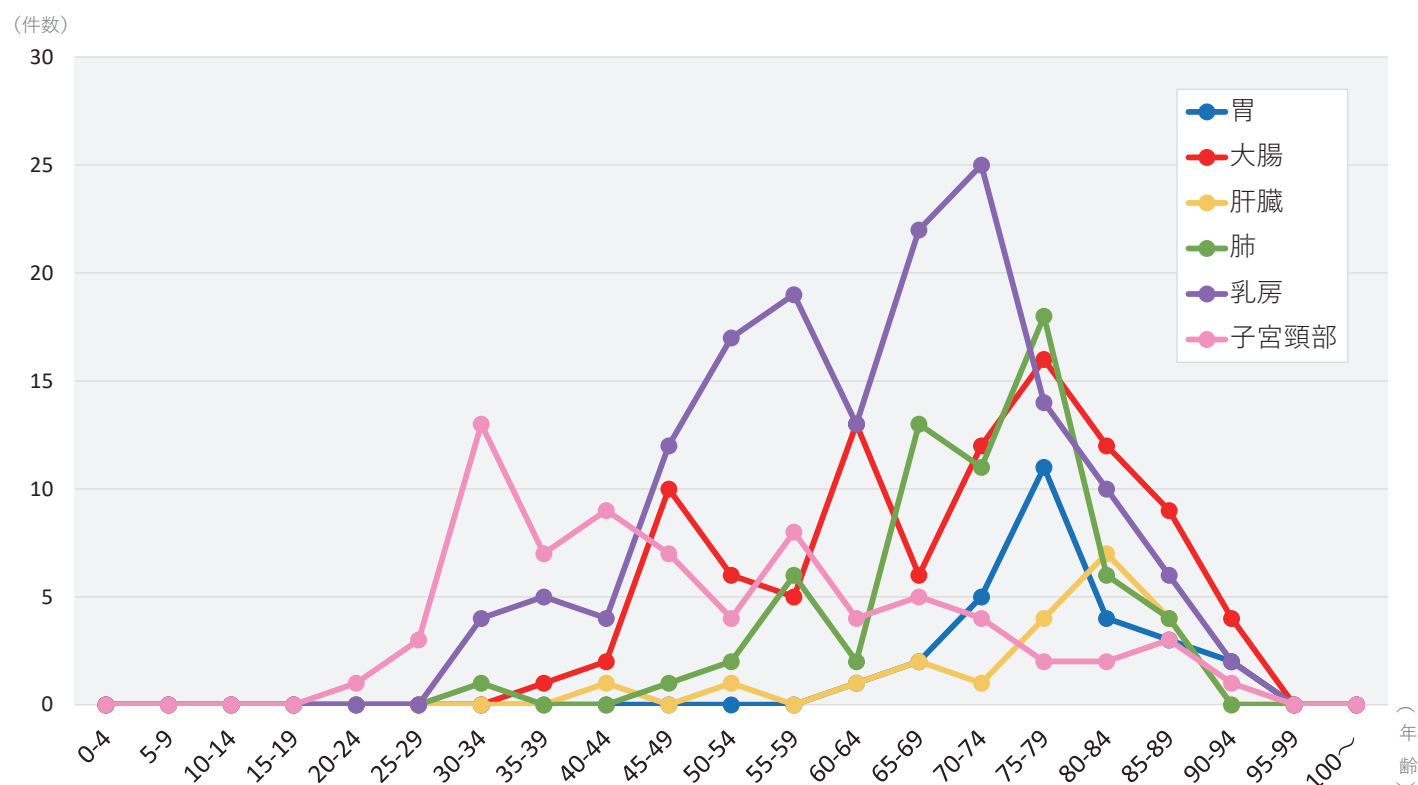
全がん 年齢別登録件数

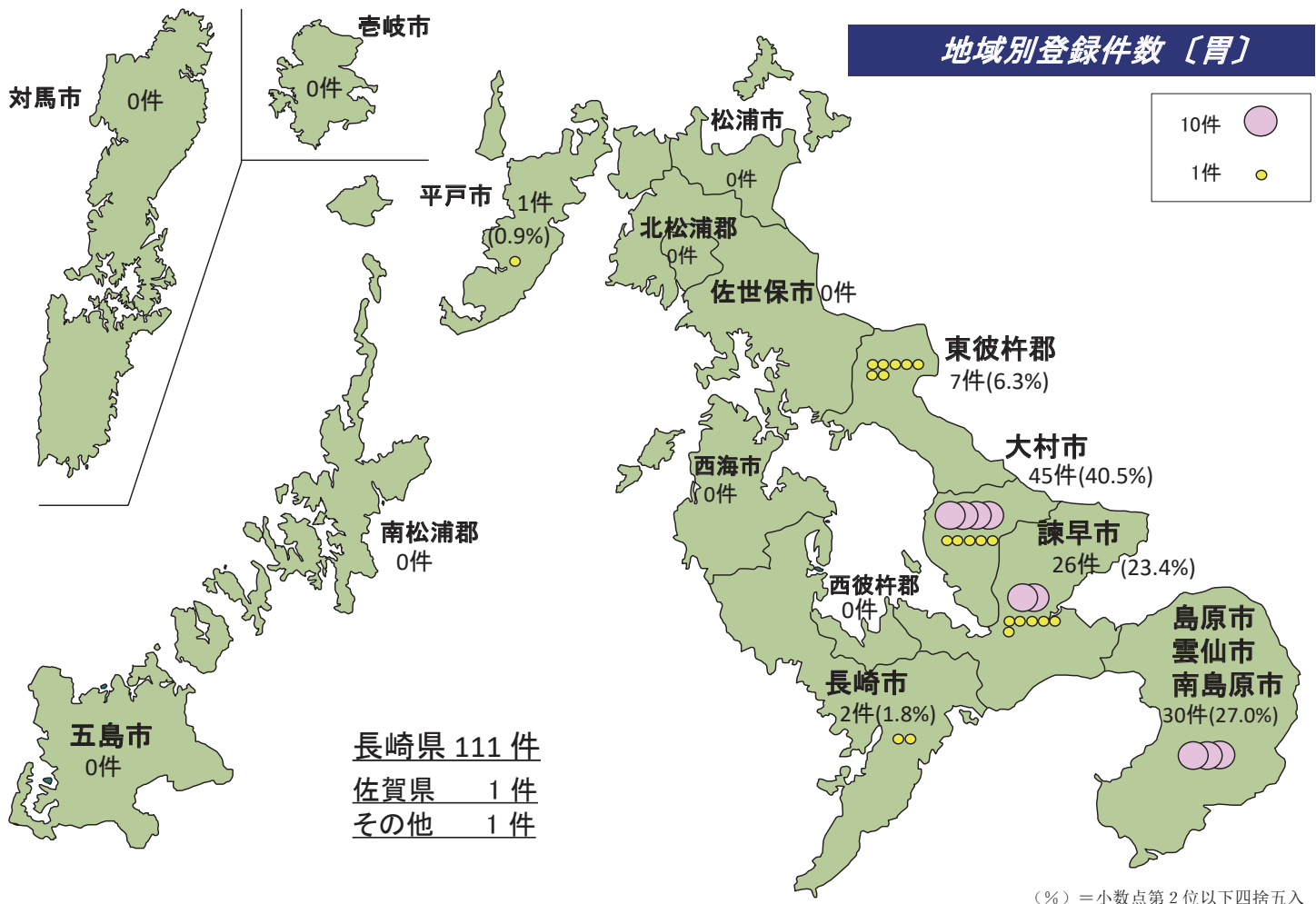
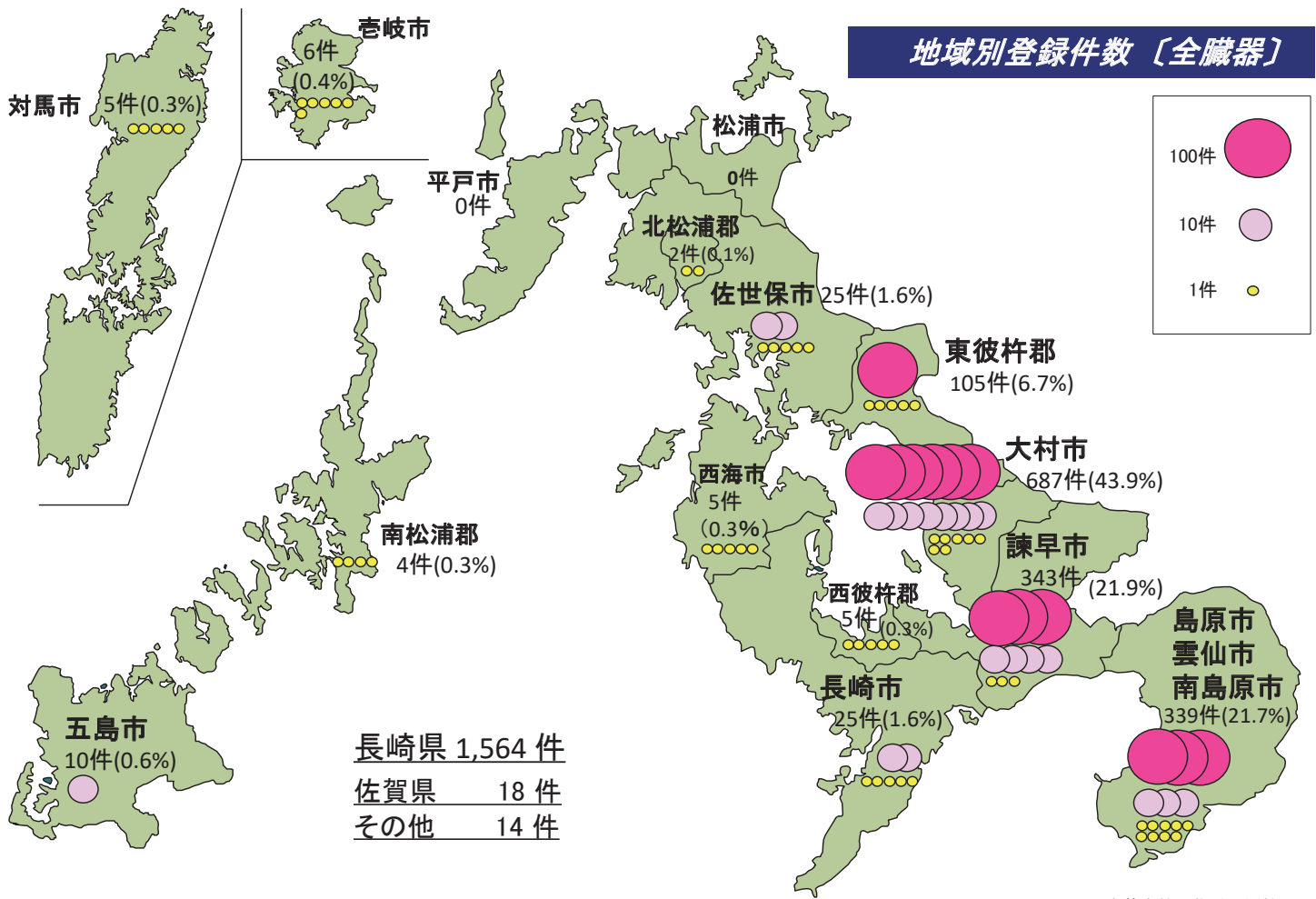


年齢別登録件数〔男性〕

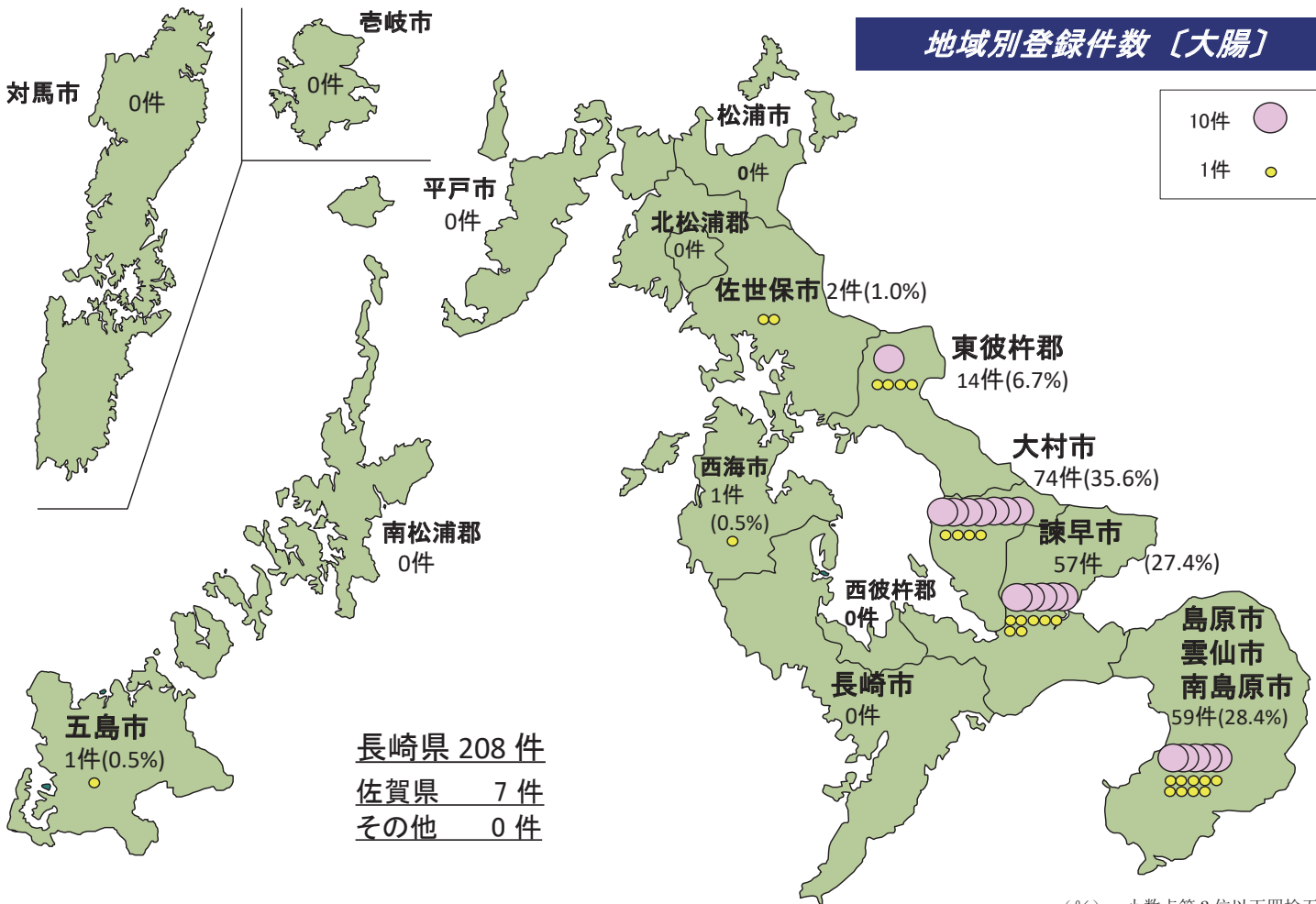


年齢別登録件数〔女性〕

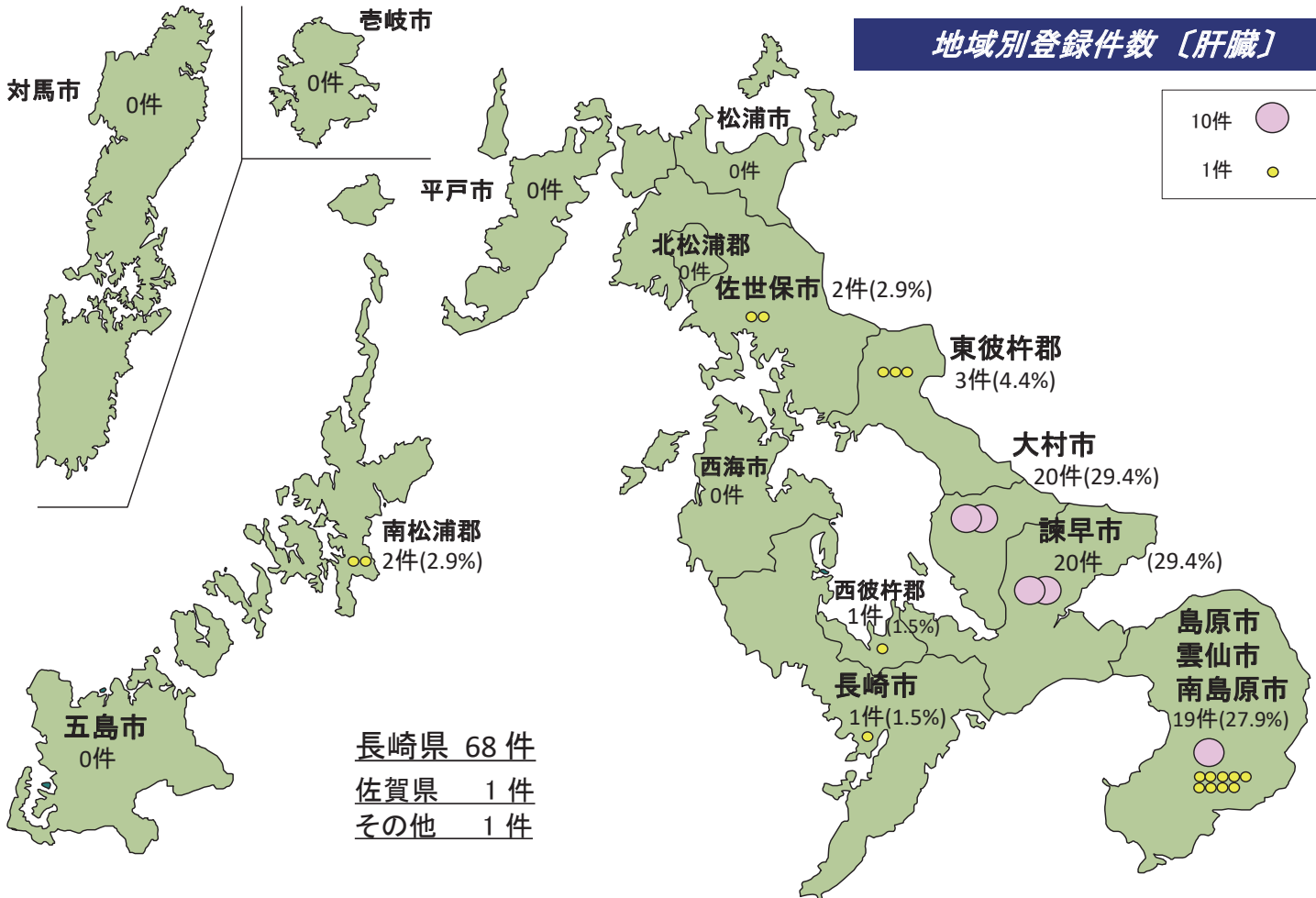


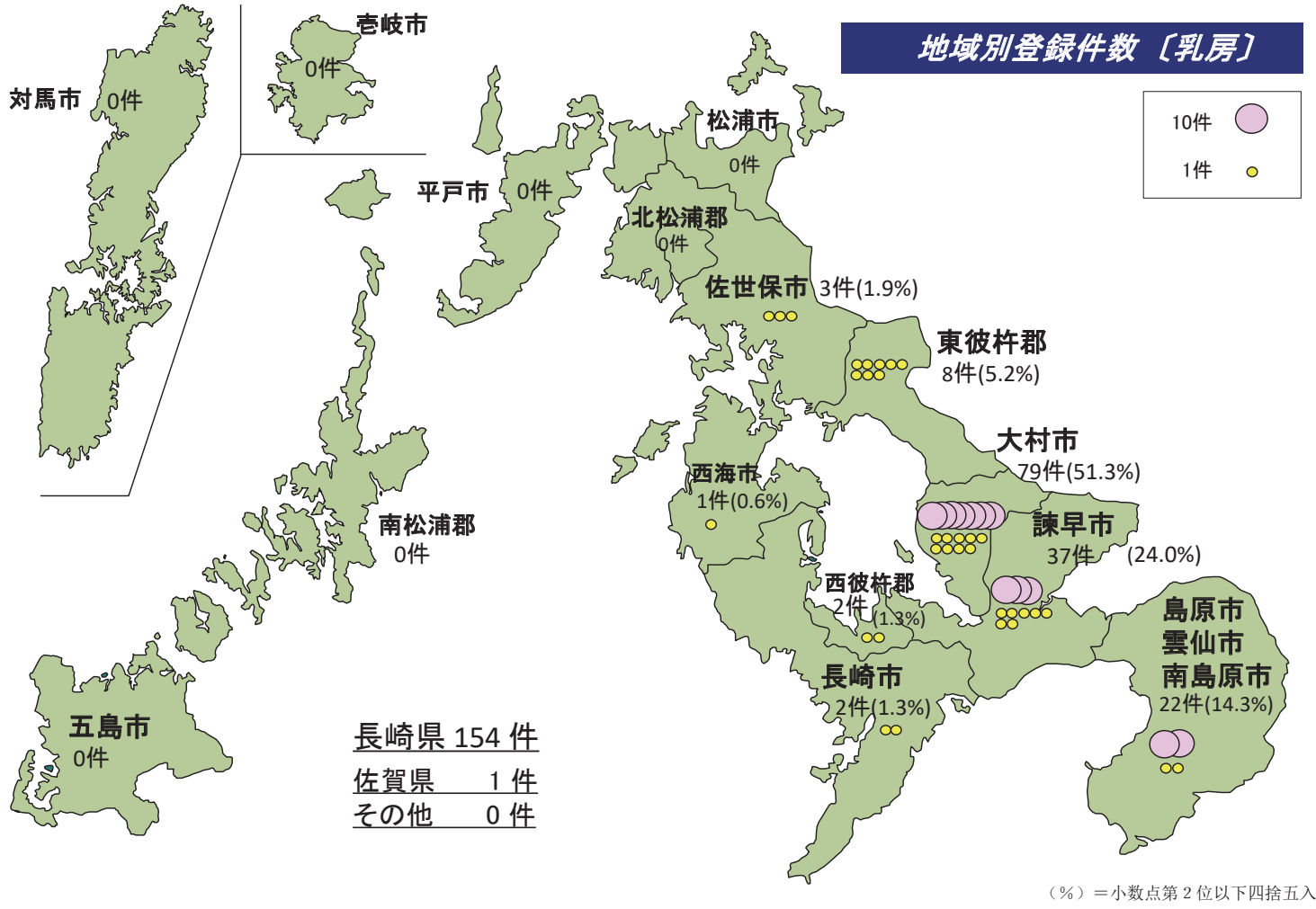
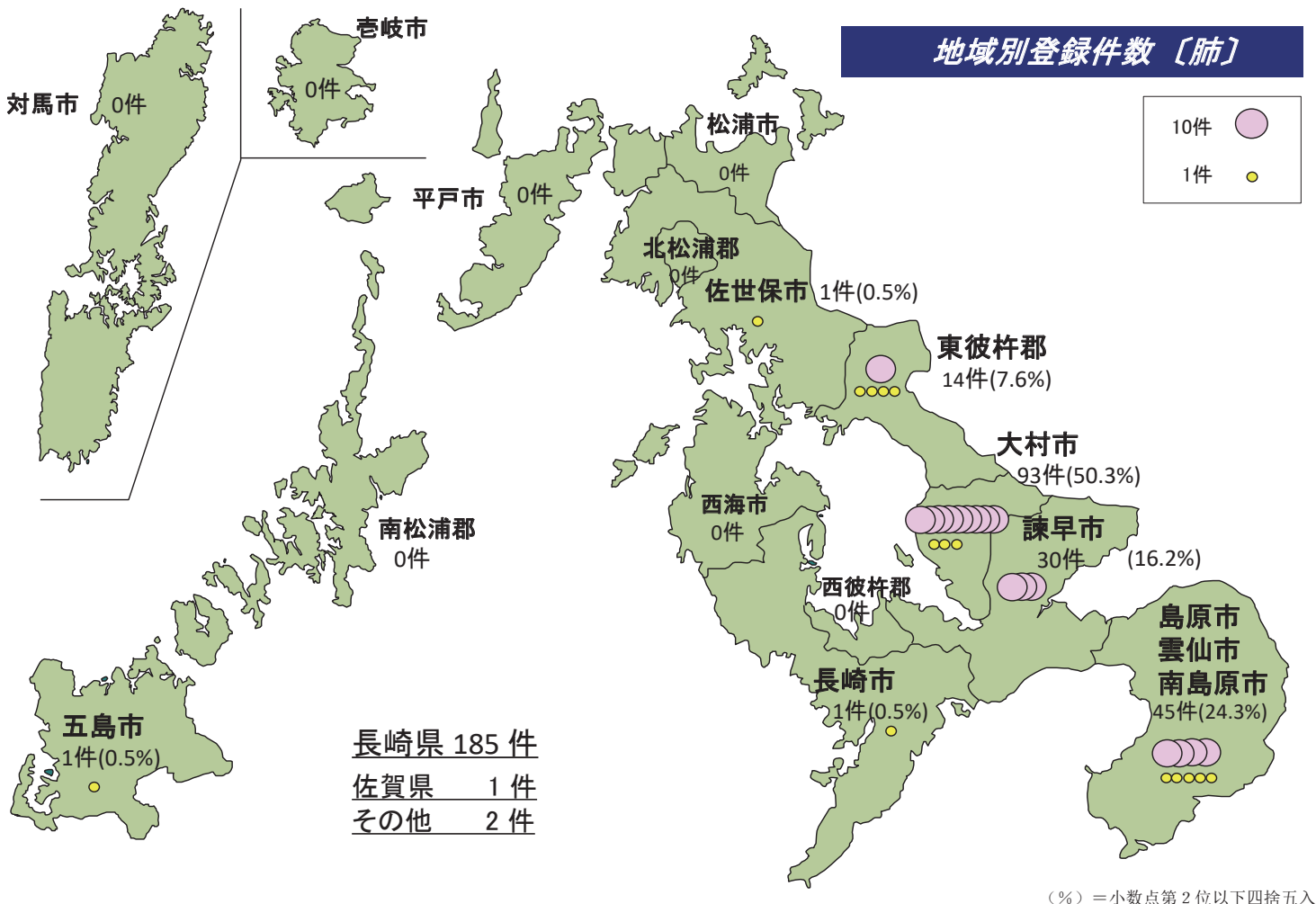


地域別登録件数〔大腸〕

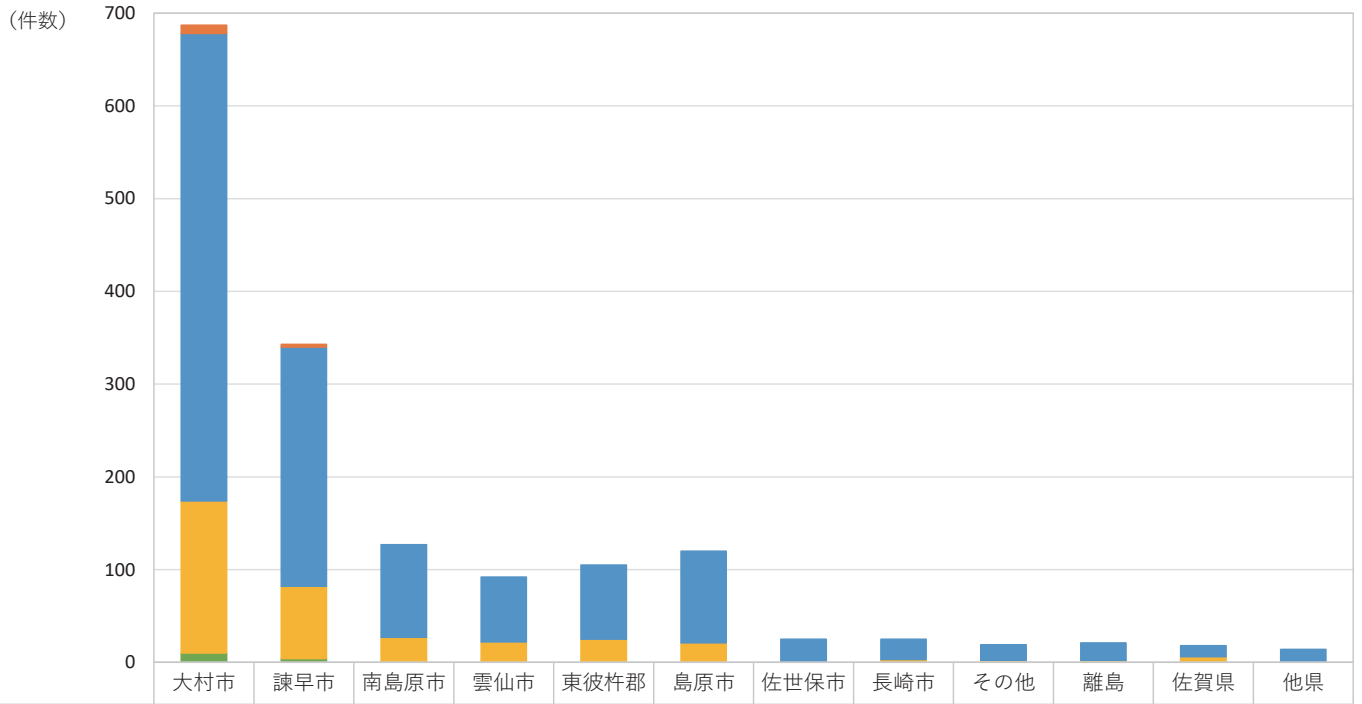


地域別登録件数〔肝臓〕

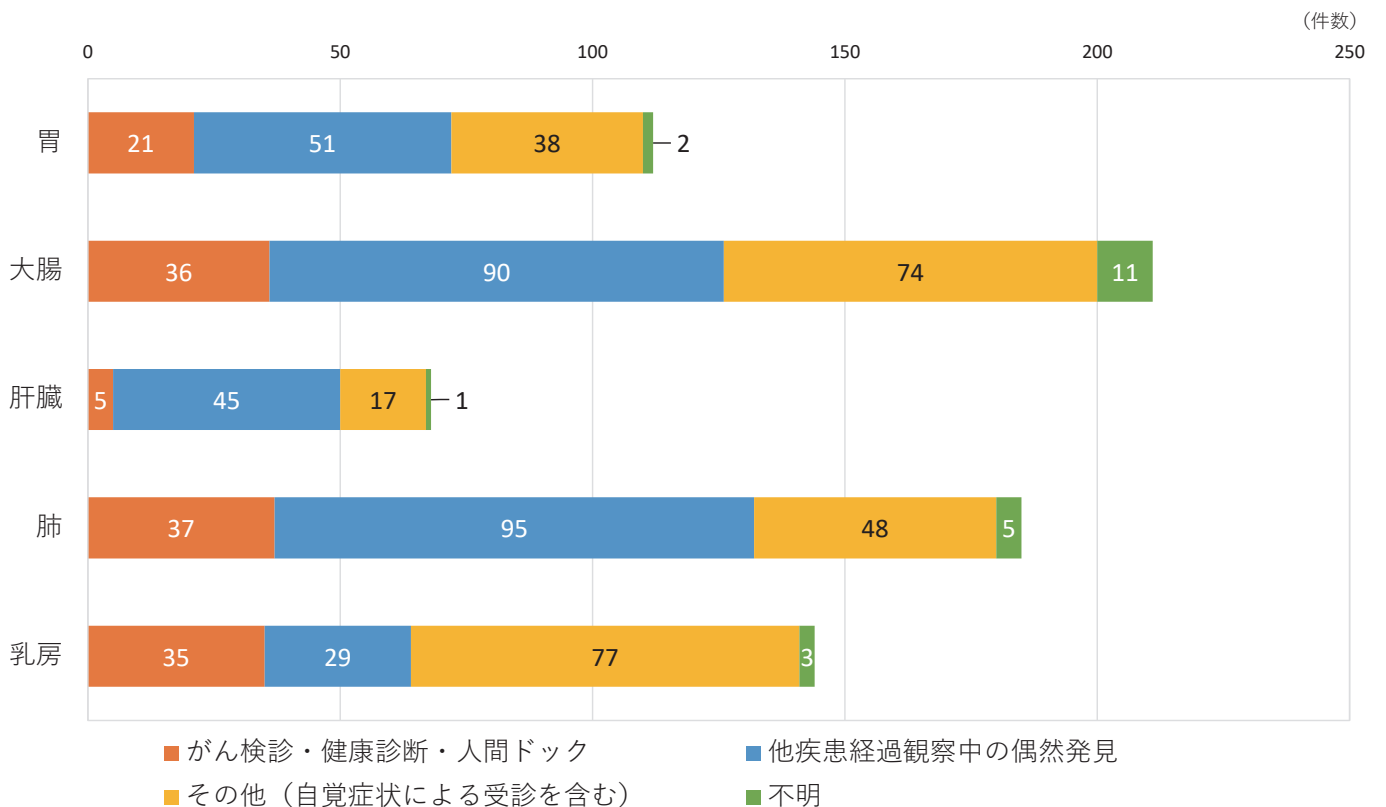




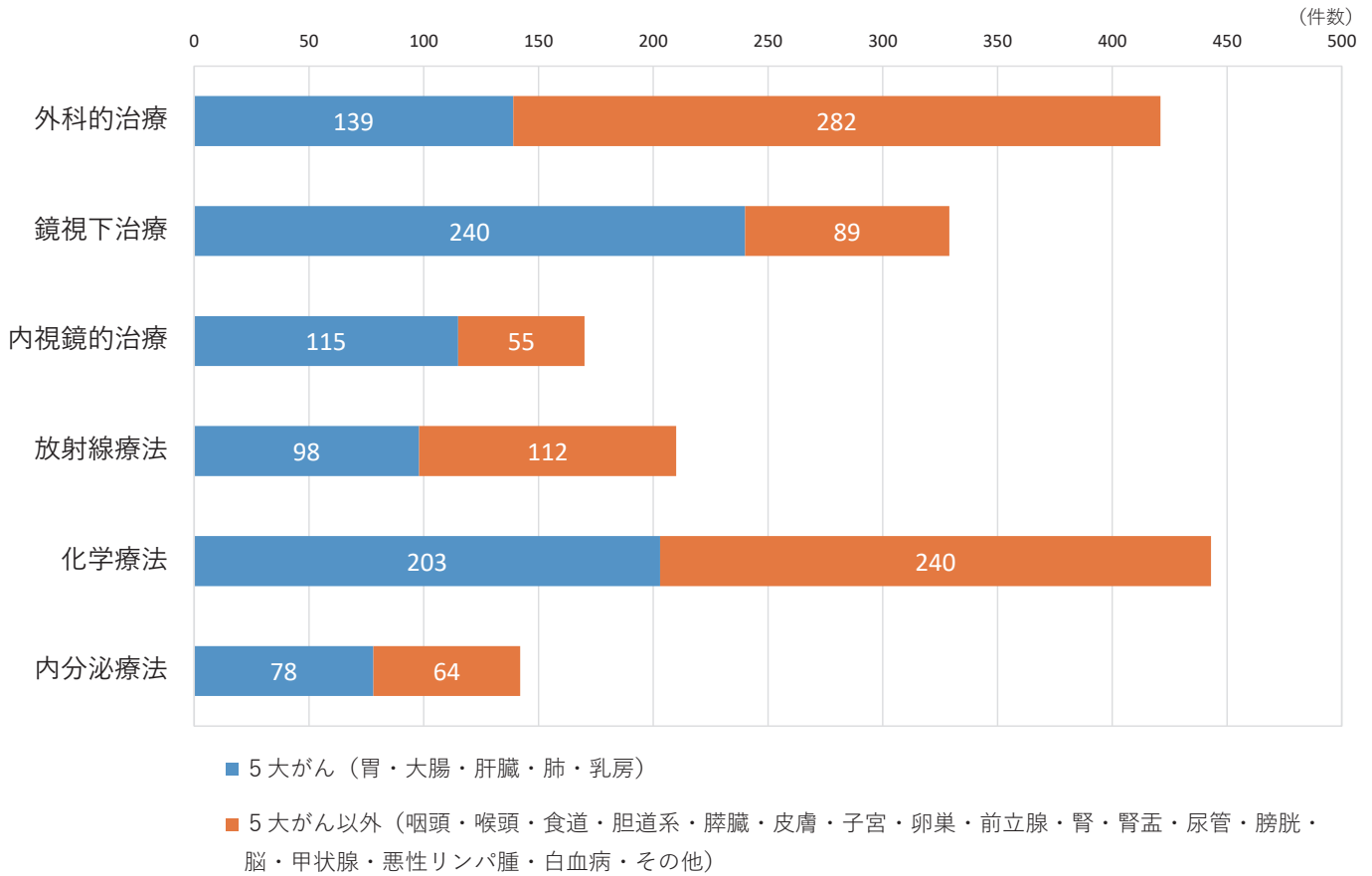
来院経路（地域別）



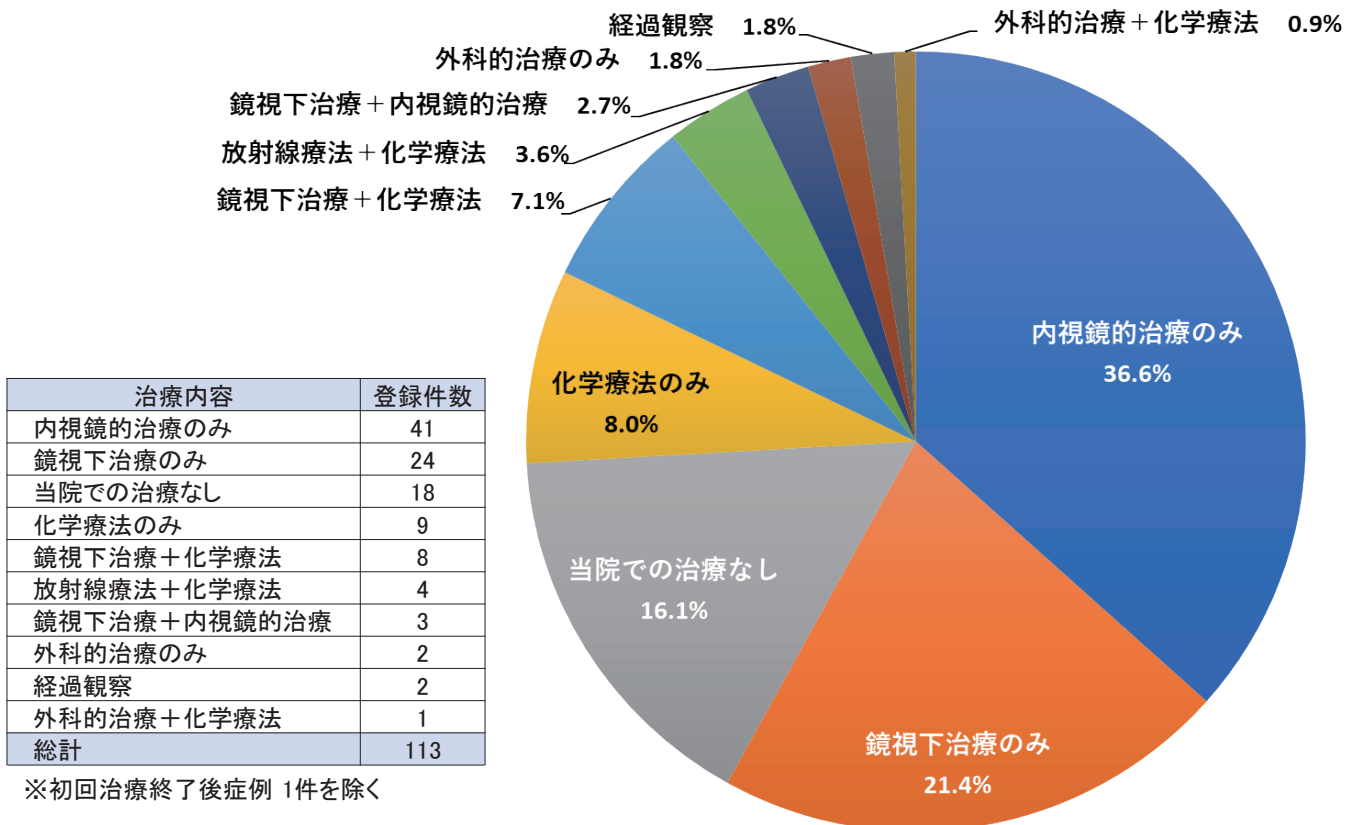
発見経緯（5大がん）



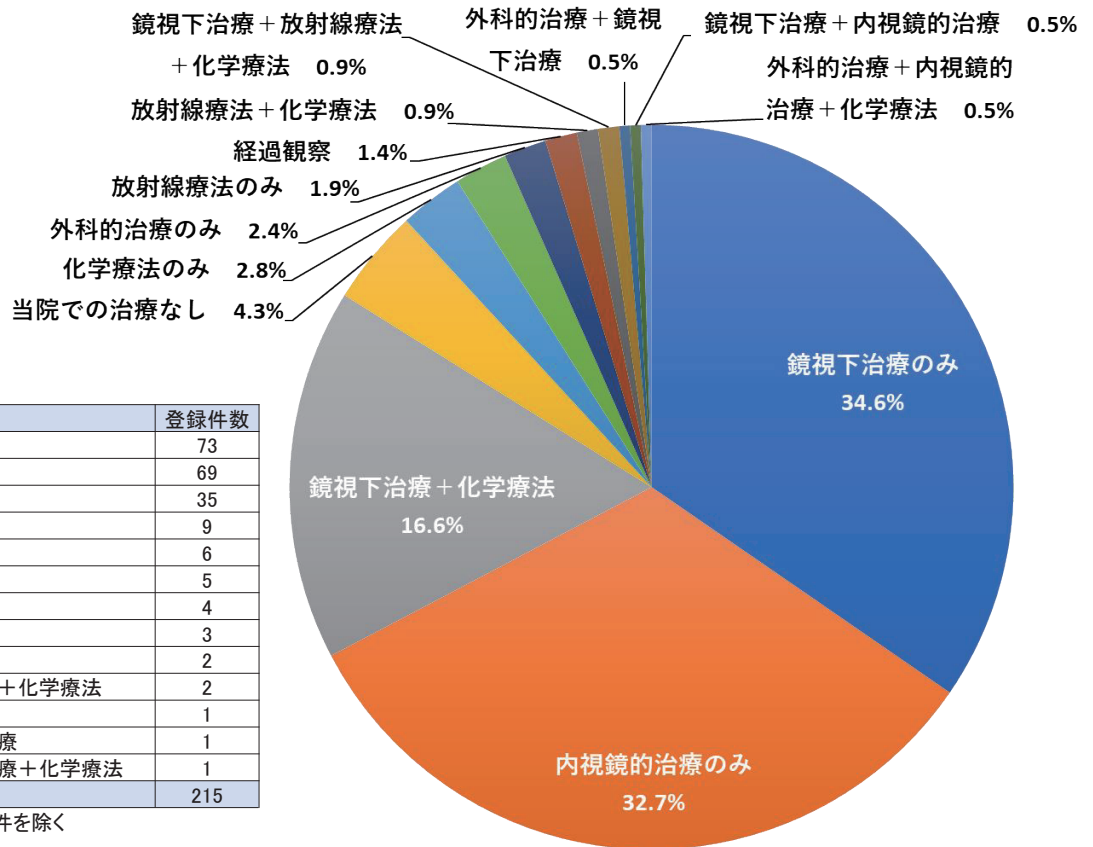
初回治療方法



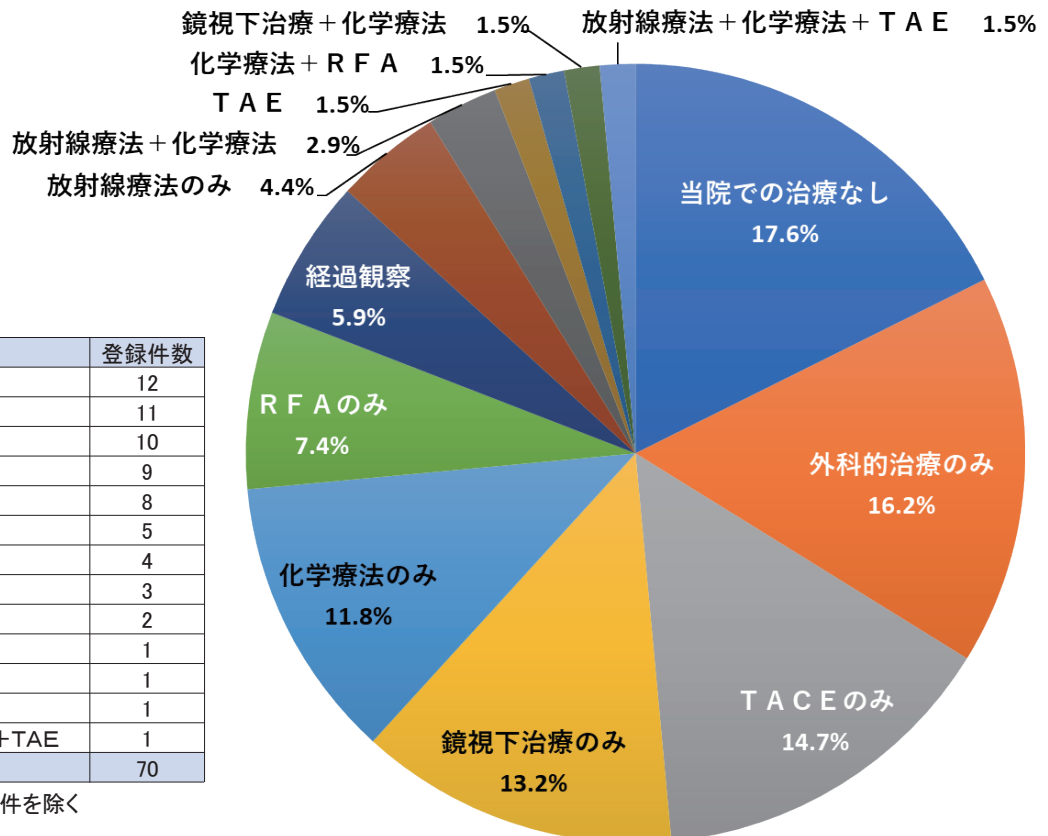
胃がん 初回治療内容 [2023年診断症例]



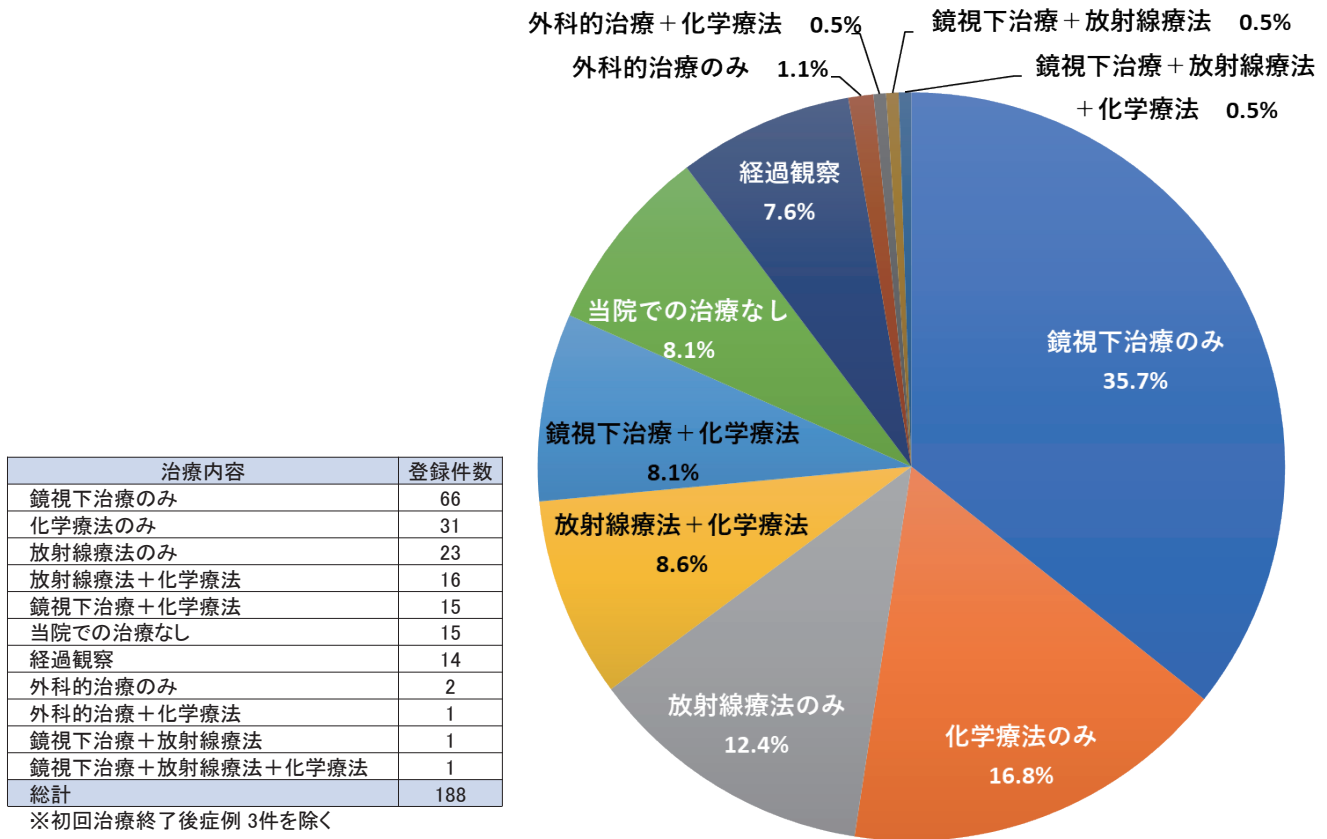
大腸がん 初回治療内容 [2023年診断症例]



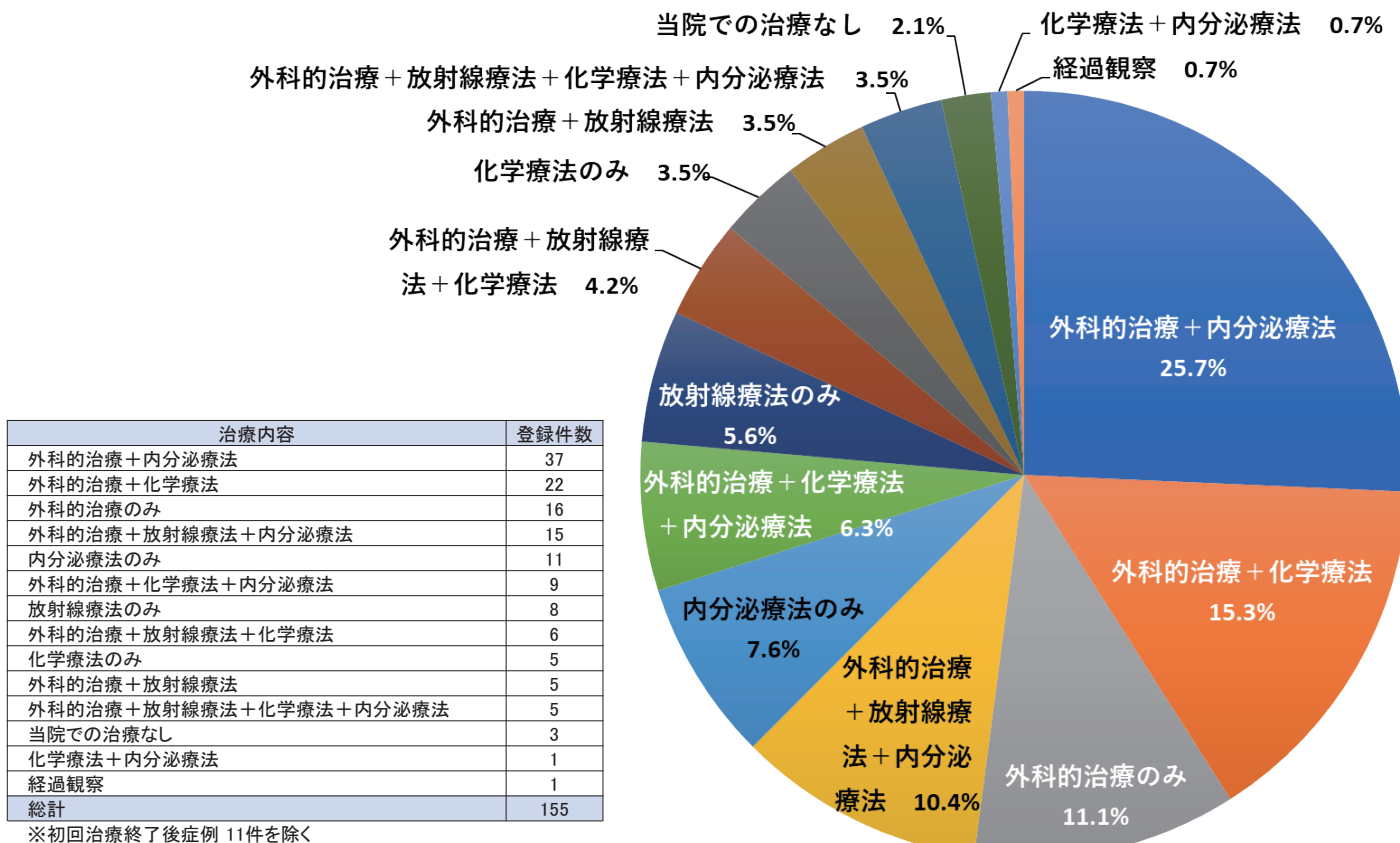
肝がん 初回治療内容 [2023年診断症例]



肺がん 初回治療内容 [2023年診断症例]



乳がん 初回治療内容 [2023年診断症例]

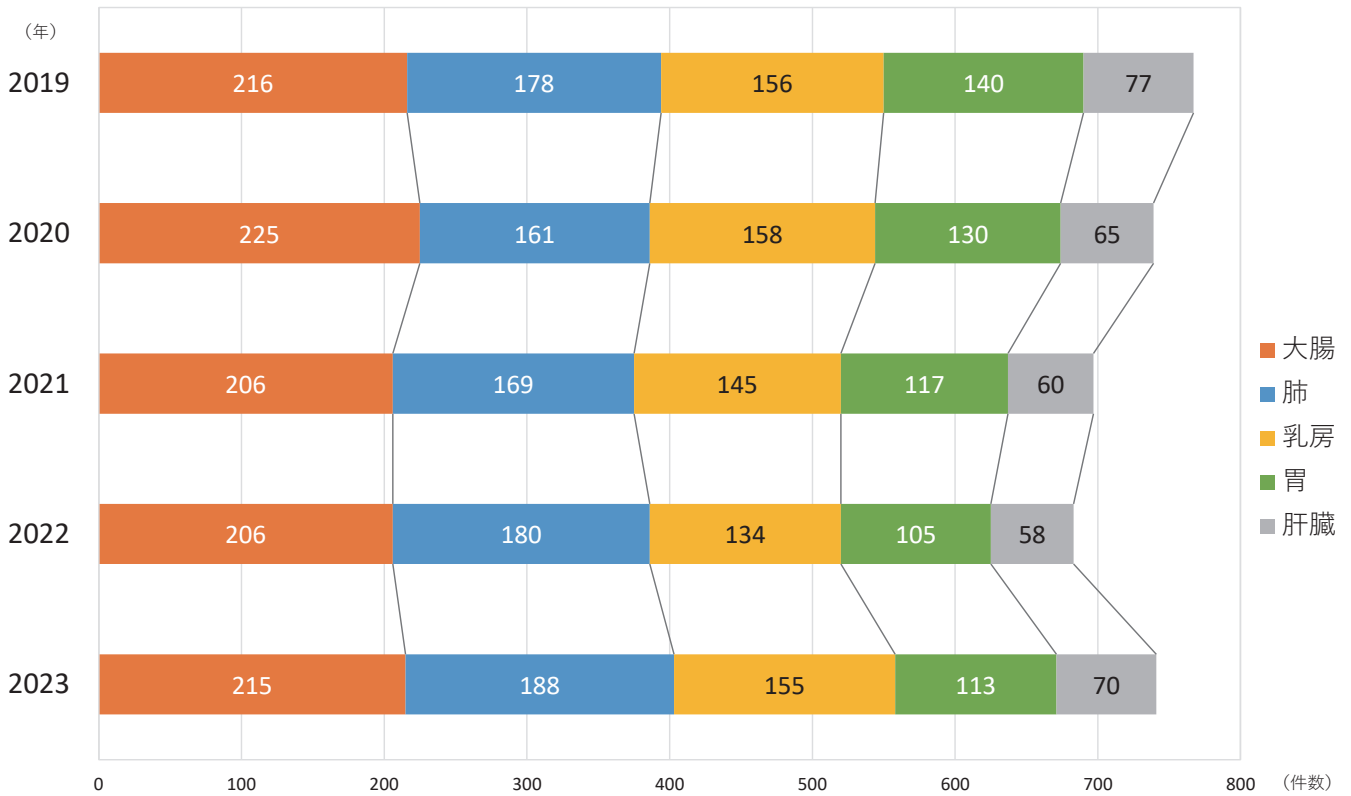


2019～2023

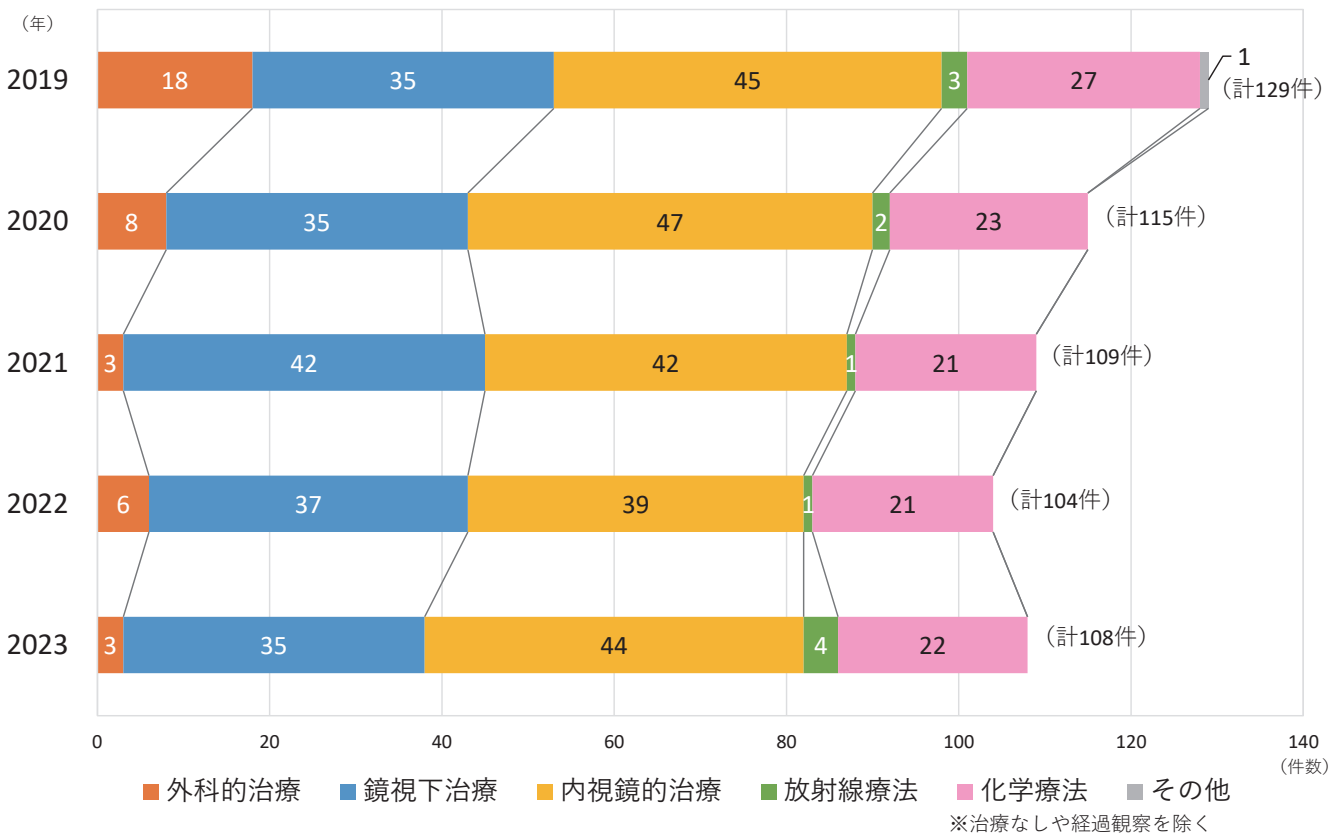
年次推移



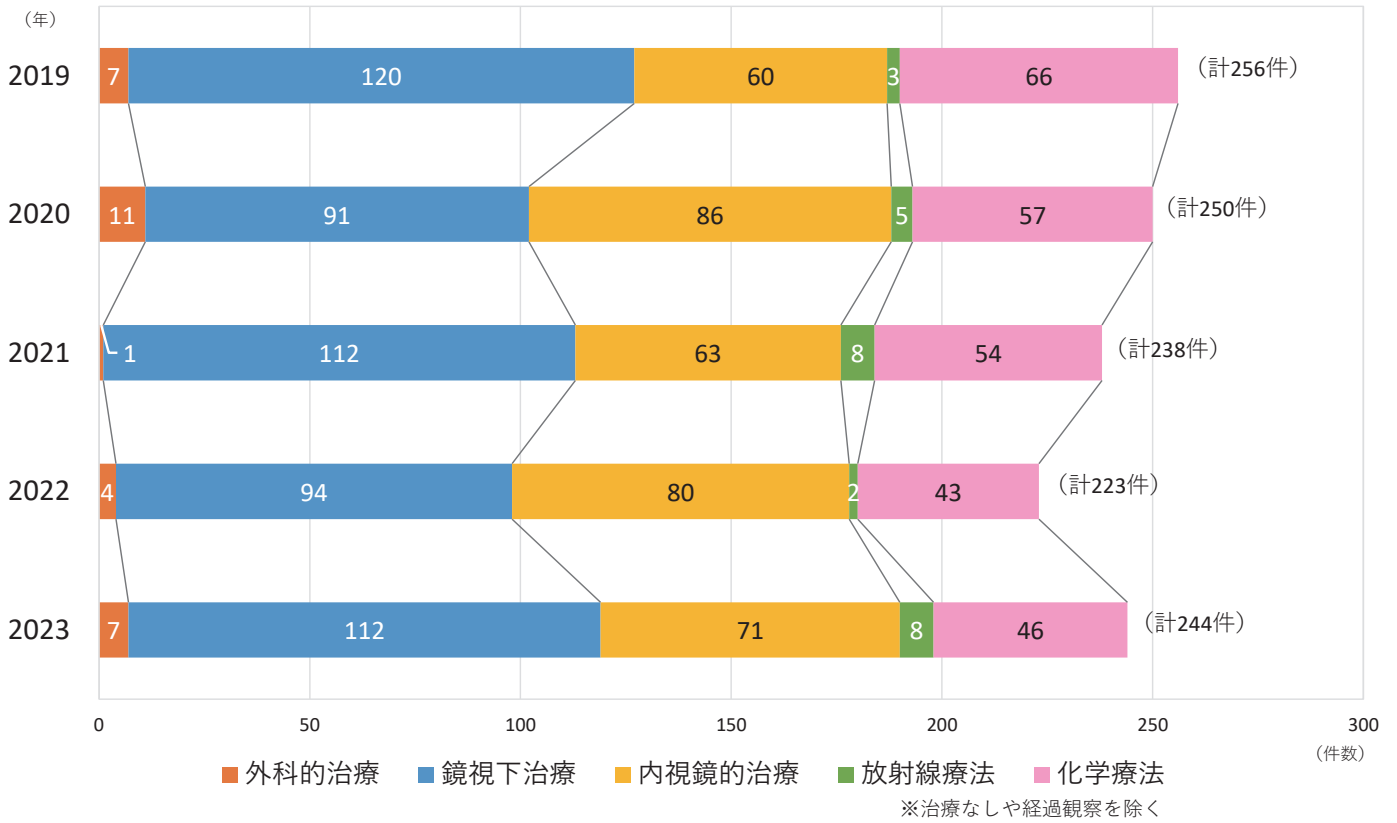
登録件数（5大がん）の推移



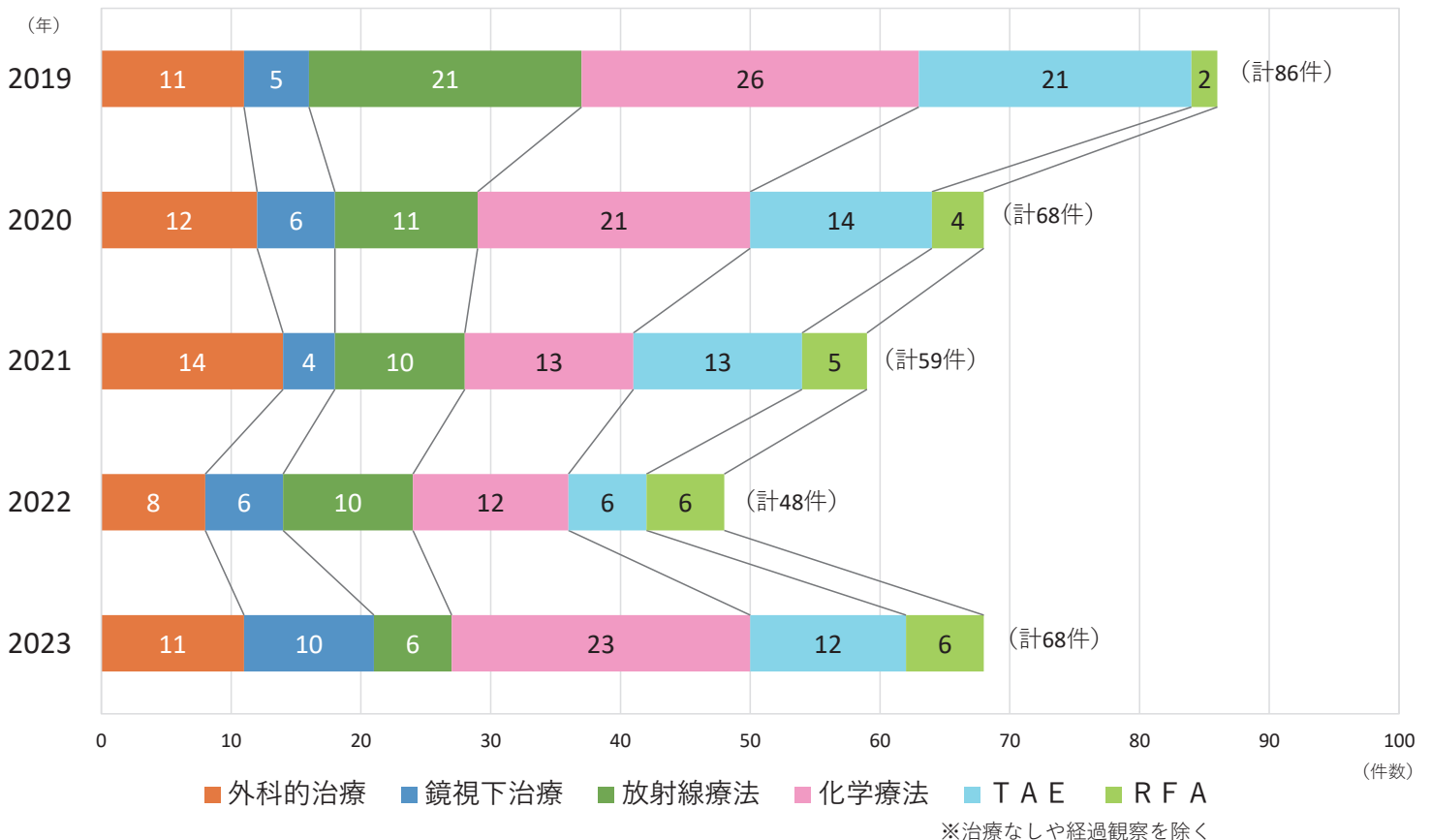
初回治療方法（胃）の推移



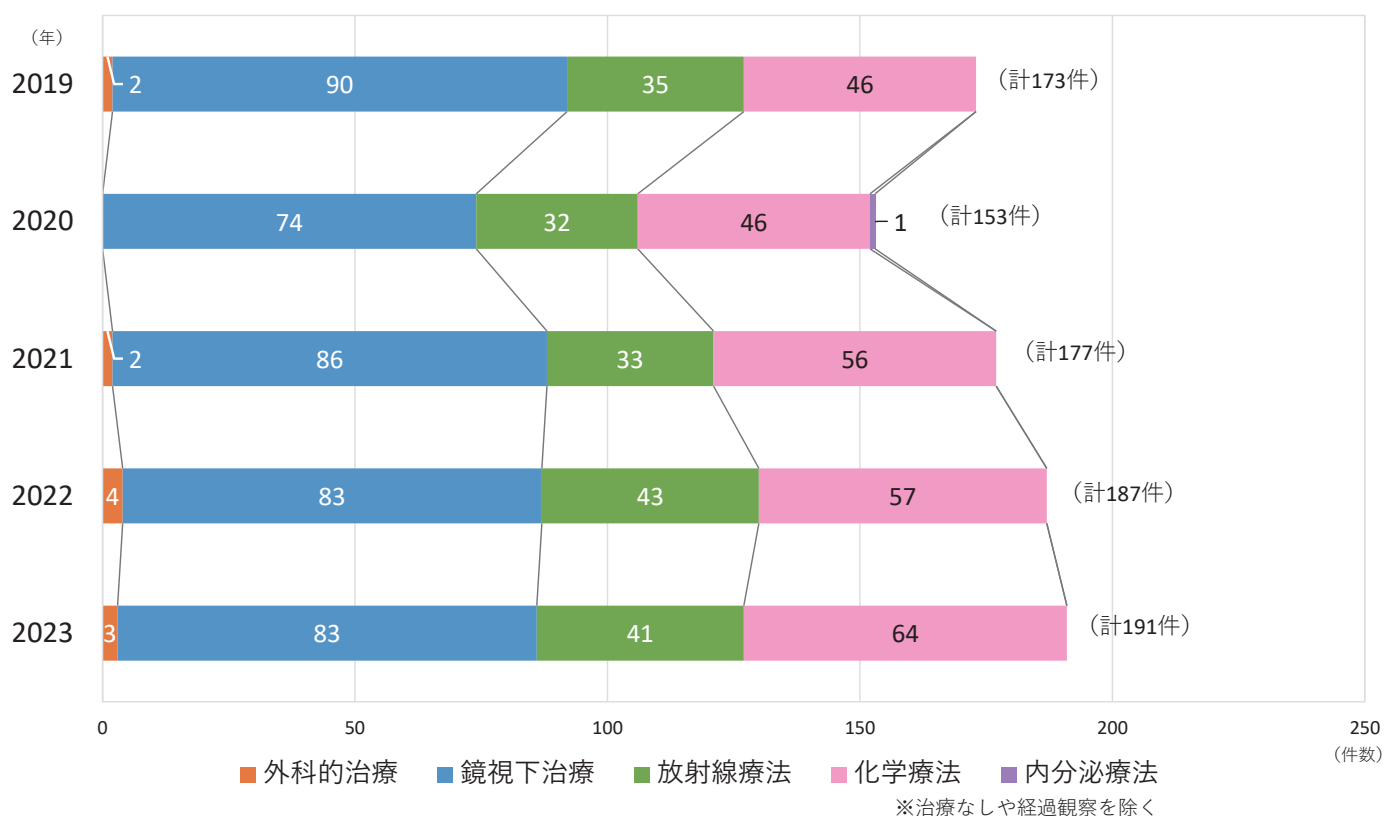
初回治療方法（大腸）の推移



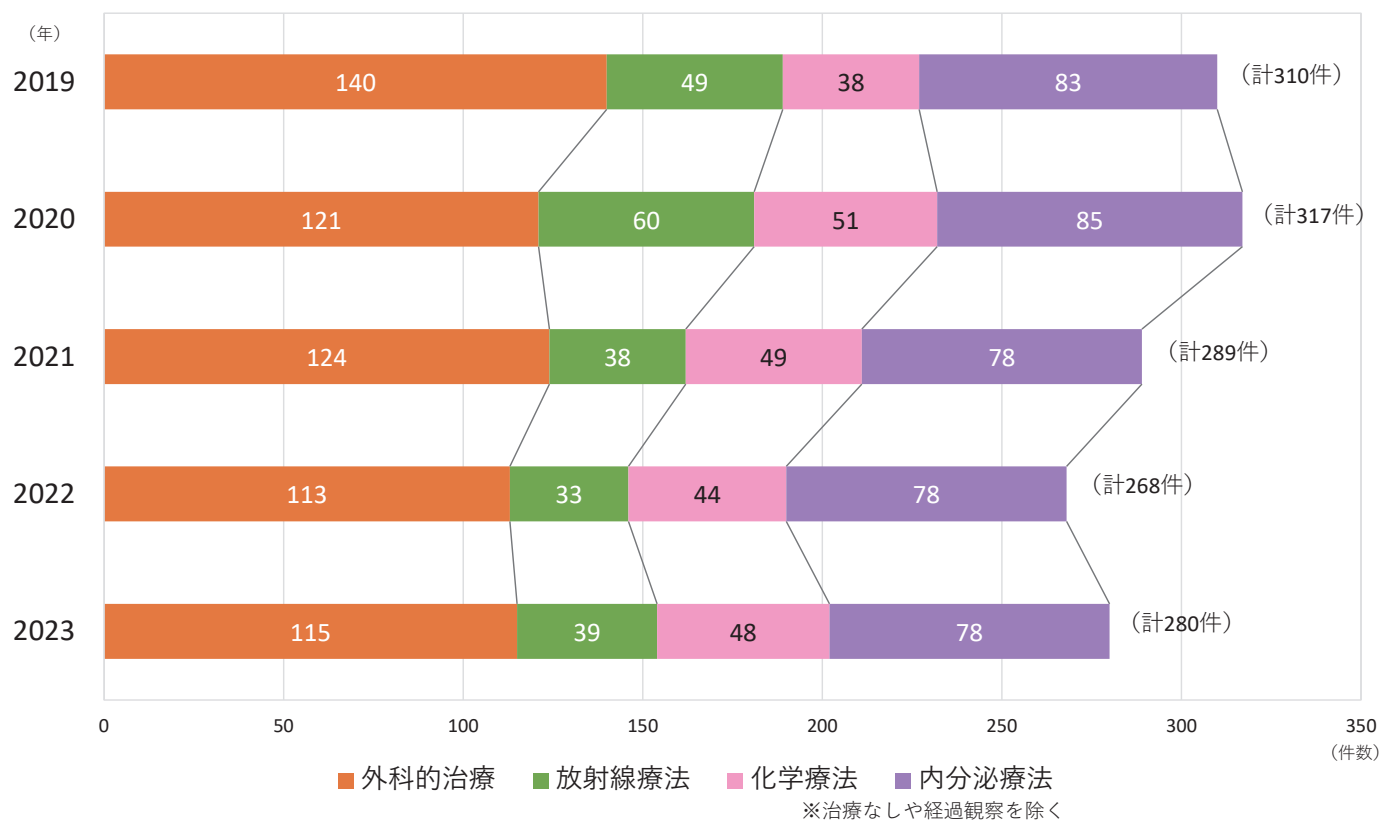
初回治療方法（肝臓）の推移



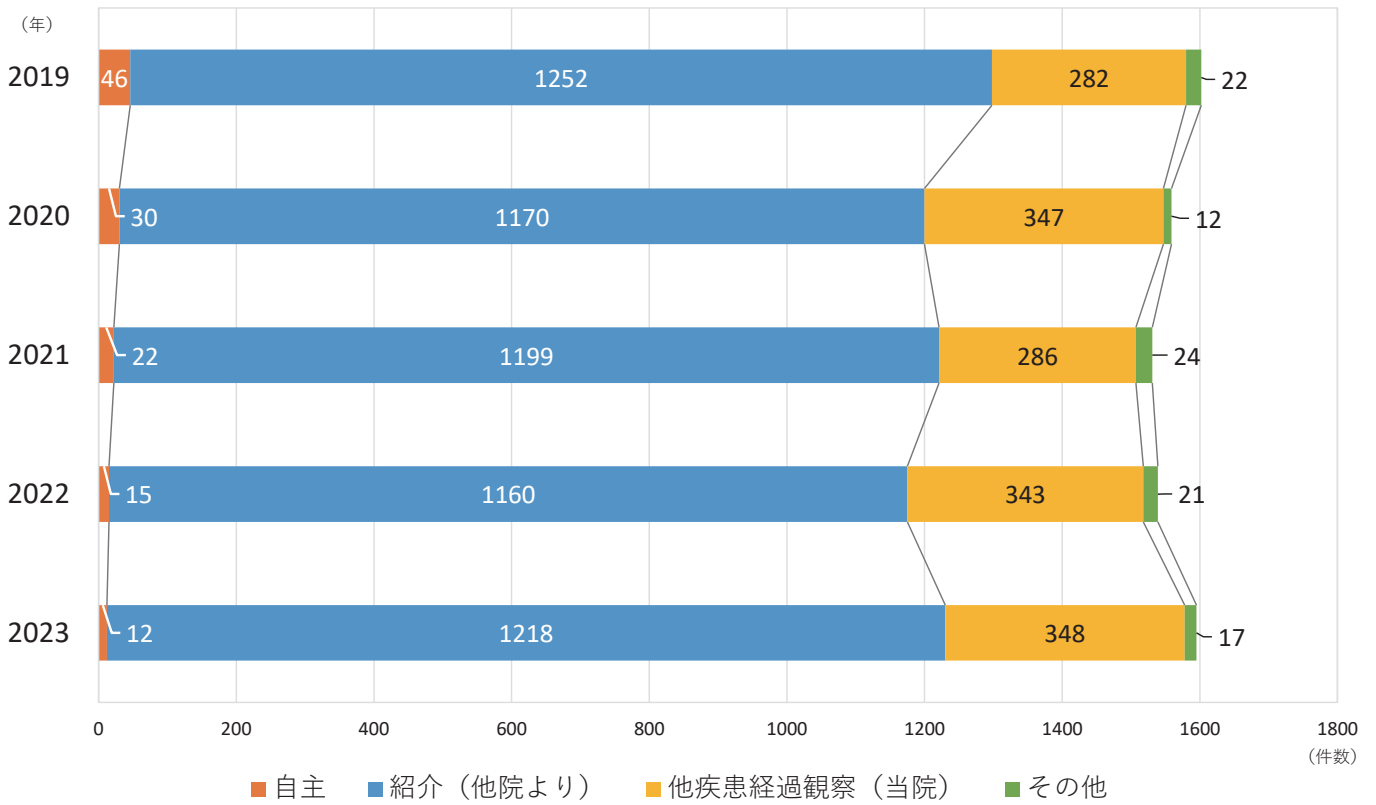
初回治療方法（肺）の推移



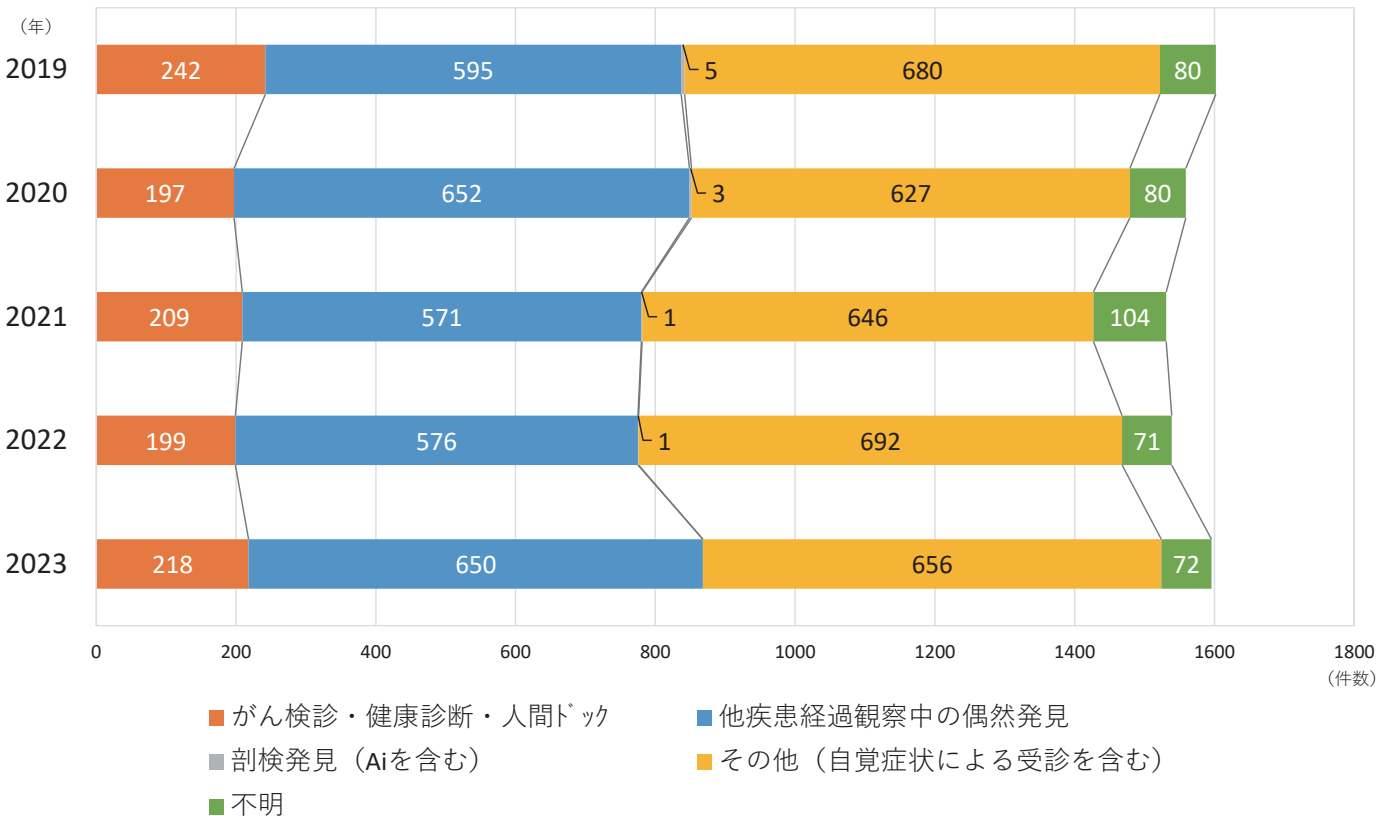
初回治療方法（乳房）の推移



来院経路の推移



発見経緯の推移



編集後記

2023 年の腫瘍集計報告が完成しました。本報告では、当院におけるがん診療の実態を、部位別・年齢別・地域別の登録件数や初回治療内容に基づき総合的に分析しています。また、2019 年から 2023 年までの 5 年間にわたる登録件数の推移、初回治療、来院経路、発見経緯についても詳細にまとめました。

2020 年に始まった新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月から感染症法上 5 類に移行し、社会はほぼコロナ前の状況を取り戻したように見えますが、医療現場では依然としてその影響が大きく続いています。今回の報告書は、がん診療における COVID-19 の影響を評価するうえでも貴重なデータと言えるでしょう。

当院では 2004 年から院内がん登録を実施し、質の高いデータを蓄積してきました。このデータは、診療の分析や研究において重要な情報源となります。本報告もご活用いただき、研究での二次利用にも積極的にお役立てください。二次利用に関するご相談も、随時お受けしております。

また、当院のがん登録データは、国立がん研究センターが行う全国集計や全国がん登録事業にも提供されており、がん情報サービスのウェブサイトにも全国の医療機関のデータが公開されておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

最後になりますが、本年も迅速かつ丁寧に報告書をまとめてくださった診療情報管理室がん登録部門の皆さんに、心より感謝申し上げます。

2024 年 12 月

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
副院長 吉田 真一郎

NATIONAL
NAGASAKI
MEDICAL CENTER



独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター

〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL. 0957・52・3121 [代] FAX. 0957・54・0292
<https://nagasaki-mc.hosp.go.jp>